

みちづくりニュース●第3号

にぎわい街道

～こだますいかの街と石の街を結ぶ～

発行日 平成15年4月30日(水)

発行者 国土交通省関東地方整備局
常陸河川国道事務所調査第二課
茨城県水戸市千波町1962の2

アンケートにご協力、ありがとうございました。

みちづくりニュース「にぎわい街道」第3号をお届けいたします。さて、12月10日に発行いたしました「にぎわい街道」第2号におきまして、国道50号（協和・岩瀬地区）「協和道路」の整備方法等についてアンケートを実施したところ、たくさんの方々からご回答頂きありがとうございました。今号では、そのアンケート結果等についてお知らせいた

します。

なお、皆様から寄せられましたご意見やご提案につきましては、常陸河川国道事務所のホームページの中で紹介しますので、そちらもご覧下さい。

(ホームページアドレス:

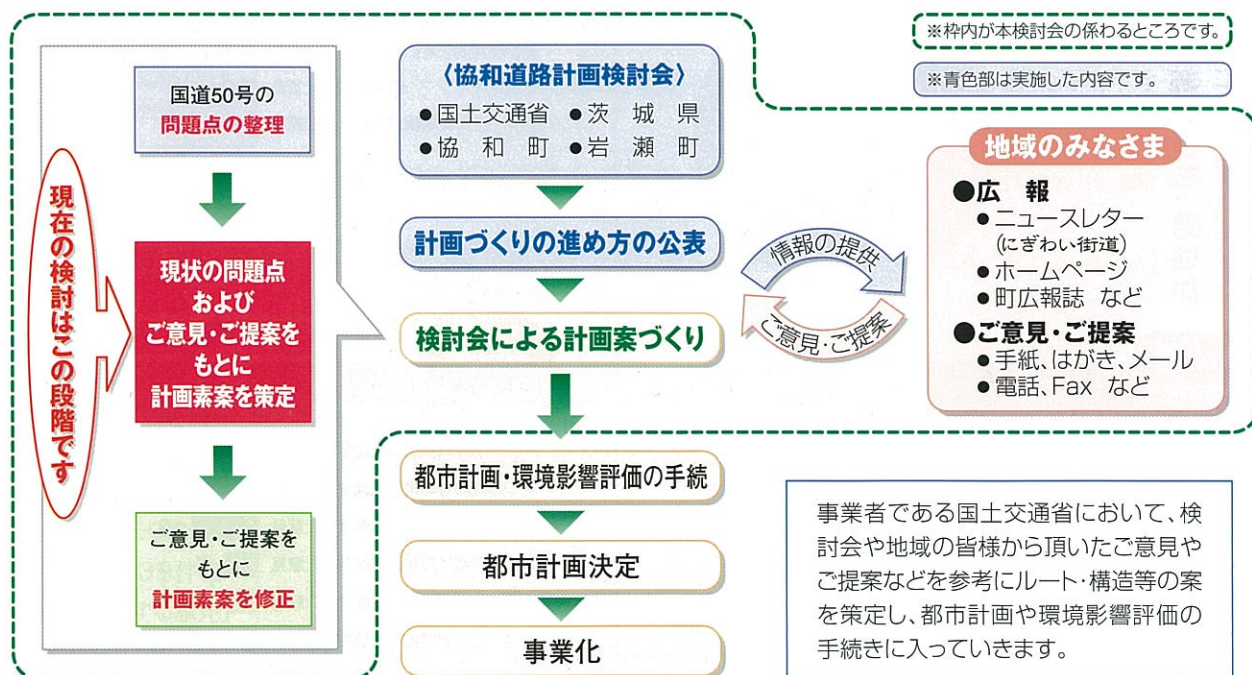
<http://www.ktr.mlit.go.jp/hitachi/>)

あなたのご意見・ご提案を計画づくりに生かします！

協和道路計画検討会情報

協和道路の計画づくりの進め方につきましては、平成14年8月29日の第1回検討会において、以下のような流れで進めていくことになり、皆様のご意見やご提案を参考にしながら計画づくりを進めています。

また、第2回検討会を平成15年2月27日に実施いたしました。検討会の様子を7ページで紹介いたしておりますので、ご覧ください。



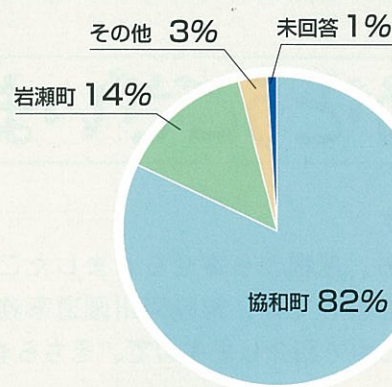
みちづくり ニュース

アンケートの集計結果

回答された方の属性

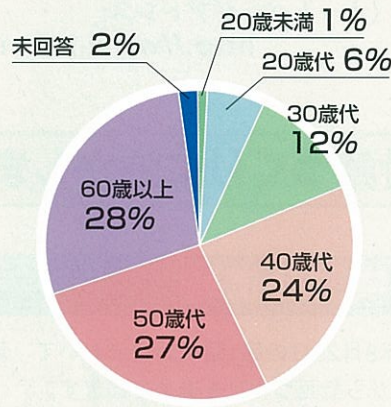
住 所

全回答者のうち、協和町の方が8割を占めています。



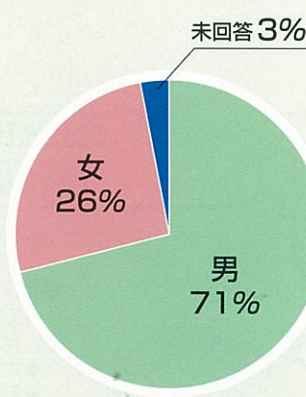
年 齢

前回に比べ20歳代、40歳代の割合が増加し、幅広い年齢層からご意見をいただきました。



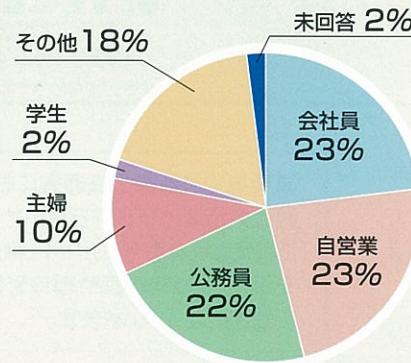
性 別

全回答者のうち、男性が7割以上を占めています。



職 業

様々な職業の方々からご意見をいただきました。

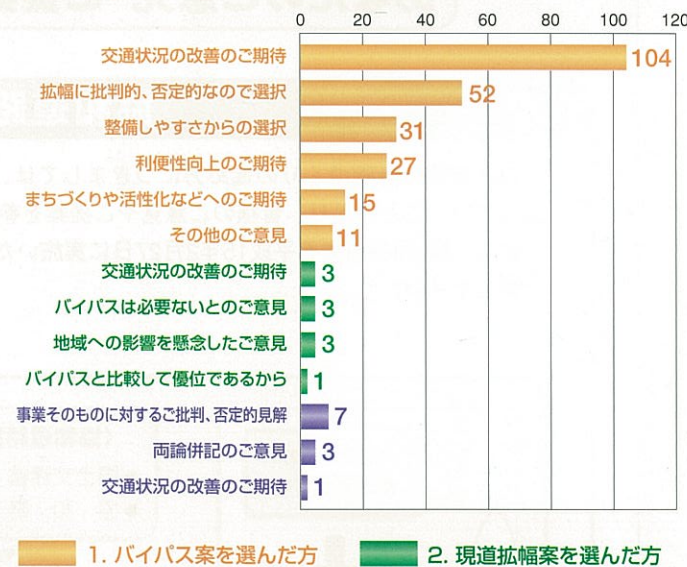


※回答者数は268人

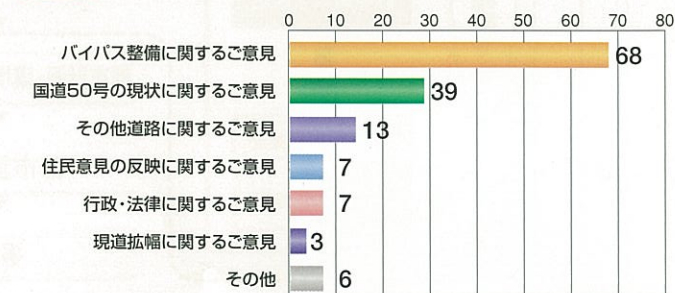
問1 協和道路としてどのような整備方法が良いか該当するもの1つに○印をお付けください。

バイパス整備案を選択された方がもっとも多く、全回答者の9割を占めています。現道拡幅案は少なく、わずか4%しかありませんでした。バイパス整備案、現道拡幅案以外のご提案としては、「整備反対」「交差点改良を先行し、段階的整備」「信号・交差点の改良」「総合的に交通問題を解消」をいただきました。

問2 問1で整備方法を選択した理由をお書き下さい。



問3 その他、ご意見がありましたらご自由にお書き下さい。



第2号のアンケート結果

アンケートで頂いたご意見・ご提案

ご意見・ご提案やご要望から項目ごとに主なものを要約してご紹介します。なお、誌面の都合で掲載できなかったご意見等につきましても、協和道路の計画づくりの参考とさせていただきます。

- 問2に戴いたご意見等
- 問3に戴いたご意見等

バイパス整備案を選んだ方のご意見

- 道路幅が狭く、交通量も年々増加しているの、現道の渋滞解消対策としてバイパス整備を早期に実現してほしい。(協和町 男性 40歳代)
- 拡幅するには家屋や商店が多く、かなりの費用がかかる。2車線になっても道路修復工事や事故の時等、渋滞が予想される。2本あれば迂回する事も出来る。緊急時にも助かる。(協和町 男性 30歳代)
- 通過交通と生活交通が分散され、現道の生活道路としての機能が回復されて良い。現道拡幅では建物の移転が多いので困難である。(岩瀬町 男性 60歳代)
- 現在の一般国道50号周辺は家が密着しているため、現道拡幅案を取るよりは、別ルートを考えて方が良い。(協和町 女性 30歳代)
- 栃木県の50号は4車線になっています。茨城県がなぜ狭いのかと思っています。(協和町 女性 50歳代)
- まず他の所はすべて4車線で交通の流れが良い。下館、協和、笠間の地区が交通のガンである。住民行政の一般の努力が必要です。(岩瀬町 男性 50歳代)

拡幅整備案を選ばれた方のご意見

- より早く、実現するには、現道拡幅の方が距離的にも早いような気がします。(下館市 女性 40歳代)
- 現道50号の歩道は、自転車での利用の場合、よそ見も出さない。(岩瀬町 女性 60歳代)
- 道路の幅が狭く感じられ、特に大型車等が行き交うと渋滞してしまう。(協和町 男性 20歳代)

その他を選ばれた方のご意見

- 門井交差点までを道路拡張4車線とし、交差点を立体化してその後はバイパスとする。(協和町 男性 60歳代)
- 「混むなら道路を作ってしまえ」と言う以前に、車の量を減らす案を出した方が良くと思います。(岩瀬町 女性 30歳代)
- 協和、岩瀬間は緩和されると思いますが、他の50号線は渋滞が予想されます。バイパスの意味が無いと思います。(下館市 女性 40歳代)

全回答者のうち約9割の方が理由をお書きになりました。

- バイパス整備案を選択された理由
「混雑が解消される」「現道が狭い」等の現状の問題点の解決、「拡幅は費用がかかる」等の現道拡幅反対、「早期開通が期待できる」「地域活性化を図りたい」等を理由に挙げられている方が多く見られました。
- 現道拡幅案を選択された理由
「バイパスが必要ない」「現道が狭い」が挙げられておりました。
- その他を選択された理由
理由として、多かったのは「整備の必要なし」「バイパス整備と現道拡幅の両方を実施」という理由も多く挙げられておりました。

全回答者268名のうち、5割の方からご意見等をいただきました。それら意見を分類すると「バイパス整備に関する意見」が最も多く68件あり、全意見の1/3を占めておりました。また、「国道50号の現状に関する意見」も多く39件、次いで「その他の道路に関する意見」が13件ありました。



国道50号「協和道路」の計画素案

この協和道路の計画素案について、ご意見・ご提案のある方は最終ページのハガキをご利用下さい。

皆様から頂いた対策方法に関するアンケートでは約9割の方が「バイパス整備案」が良いとの回答でした。
アンケート結果及び「協和道路計画検討会」での検討結果を踏まえ、「バイパス整備案」を基に計画を進めていくことにしました。

協和町、岩瀬町の総合計画との整合性やこれまでのアンケートで寄せられたご意見・ご提案をふまえ、「協和道路の計画上の基本的な考え方」をとりまとめました。

この基本的な考え方をもとに検討した、協和道路の計画素案の概要と特徴などについてお知らせします。

なお、現在は計画づくりの段階であり、今回提示しているルート等は確定したものではありません。今後、皆様からのご意見・ご提案を参考にしながら、様々な調査や検討を実施した上で、都市計画手続きに入るための計画案を決定していきます。

協和道路の計画上の基本的な考え方

- 生活環境、自然環境及び景観等に配慮した計画とする。
- 学校などの公共施設及び家屋を極力避けた計画とする。
- 貴重な史跡・文化財や公園等への影響を最小限とする。
- 道路の整備効果を発揮するため、主要な道路と接続し、生活の利便性に配慮した計画とする。
- 地域の開発計画等と整合を図り、地域活性化に資する計画とする。
- 建設費の縮減や工事中の周辺環境への配慮、工事の安全対策等についても検討する。

計画素案の概要と特徴

【概要】

起終点部は利便性に配慮し、下館バイパス、北関東自動車道岩瀬ICと現道拡幅により接続し、中間部は協和町の市街化区域や小中学校等の公共施設、鉄道、協和の杜公園及び新治廃寺跡などの貴重な遺跡等を現在の50号の北側にバイパスで回避する案です。

【特徴】

- バイパス部へ通過交通が転換するため、現道の交通量が減少するため市街地部の沿道環境（騒音・振動・大気汚染）が緩和されます。
- 市街地部では通過交通と生活交通が分離され生活道路としての機能が回復します。
- 現道の交通量が減少するため歩行者、自転車利用者の安全性が向上します。
- 市街地の渋滞箇所をバイパスにより避けることにより通過時間の短縮が図れます。
- 終点部を現道拡幅にすることにより、北関東自動車道へのスムーズな接続が可能となり、利便性が向上します。
- バイパス延長を極力短くすること、大規模構造物（長大橋梁など）の必要が無いことから建設費の縮減、早期整備に寄与できます。

協和道路計画素案概要図

※本ルートは確定したものではありません。



にぎわいVOICE

思いをこめた道しるべ 岩瀬小学校石彫グループの子どもたち

岩瀬町立岩瀬小学校。冬の澄み切った青空に子どもたちの歓声が響きます。石の「道しるべ」を作って役立てようとノミをふるう子や、その様子取材してホームページで発信しようとする子たちの賑やかな声です。

岩瀬小学校では、総合学習の一環として「岩瀬の町の未来をつくるのは私たち」をテーマに決め、町を支えている人々とかかわりや活動を通して自分が住んでいる町を見つめ直し、故郷への誇りと愛着心をふくらますことをねらいに、4つのグループができました。町で働く外国人と国際交流を行うグループ、福祉施設を訪ねるグループ、ケナフで紙を作るグループ、そして石堀グループです。

それぞれのグループが町で働く達人の話を聞き、取材をすることで自分たちの活動を計画し、次々と実行していきました。石堀グループは町の主要産業である石材に注目しました。そして、町の石の彫刻家の仕事場取材し、「役立つこと」を考えました。それは、石堀の指導を受けて、「町に役立つ石の彫刻」をつくり、公共の場に石の彫刻を残すことです。

ゴーグルをして懸命に石の道しるべ名を彫る子どもたちは言います。

「結構疲れるけど楽しい。力を入れるところと抑えるところのバランスも難しいんだよ」

「やればできるんだ」という思いを込めた道しるべはもうすぐ設置されます。そして子どもたちが大きくなっても、その思い出とともに故郷の町に残るのです。



ゴーグルを忘れずに



みんな集合！

作業は、昨年10月から週2時間の総合学習の時間の他、昼休みや放課後、冬休みも返上して行い2月14日に終了しました。

完成品は国道50号に架かる若宮橋と立野橋に設置されています。



真剣に文字を刻む



岩瀬小学校

常陽新聞
平成15年2月7日

協和道路計画検討会情報

平成15年2月27日に第2回の協和道路計画検討会が開催されました。当日は「みちづくりニュース」第2号のアンケートに寄せられましたご意見やご提案をもとに、整備方

法について活発な議論がなされました。なお、詳細な議事要旨や検討会資料は常陸河川国道事務所のホームページに掲載しますので、そちらもご覧ください。

議事のあらまし

■アンケートの結果について

アンケート回答者の多くが国道50号(協和・岩瀬地区)の現状に対し、何らかの改善対策を希望していること、また、中でもバイパス整備案を選択された方が9割以上という結果となっていることが説明されました。

このようなことから、協和道路の整備はバイパス整備案を基に計画を進めていくことにいたしました。

■「にぎわい街道」第3号案について

計画素案の概要や特徴を分かりやすくするために、図面や説明文の提示方法について意見交換がなされました。

■今後の進め方について

「にぎわい街道」第3号において、バイパス整備案に対するアンケートを実施し、寄せられた意見を参考に計画素案をとりまとめた上で、第3回協和道路計画検討会を開催することが、了承されました。



協和道路計画検討会開催の様子

協和道路についてのご意見・ご提案を!

協和道路の計画素案について、ご意見・ご提案等がありましたら右のハガキにご自由にお書き下さい。

お知らせ

平成15年4月1日から、
当事務所の名称が変わりました。

旧) 常陸工事事務所

新) 常陸河川国道事務所

みちづくりニュース No.3

■ 協和道路の計画素案について、ご意見・ご提案等ありましたらご自由にお書き下さい。

■ その他、ご意見等ありましたらご自由にお書き下さい。

■ 恐れ入りますが、切り取りの上、平成15年5月31日までに投函下さい。

■ ご協力ありがとうございました。

こちむ@ロード

ここでは道路や地域に関する様々な情報などをお知らせしていくコーナーです。みなさんが日ごろ感じる道路への疑問点などにもお答えしていきたいと考えております。

上野沼に行かなくちゃ

岩瀬町

暖かくなり、若葉がぐんぐんと伸びる季節。なんだかウキウキ、水辺が恋しくなりますね。そんなとき、岩瀬町の上野沼やすらぎの里がうってつけ。豊かな自然が広がる上野沼一帯にキャンプに必要な施設やケビンなど宿泊施設、テニスコート、多目的運動場などが揃って「あそべる」し、「くつろげること」うけあい。オートキャンプもオーケーです。アウトドア派もリゾート派も「上野沼」へ。インターからも近いですよ。



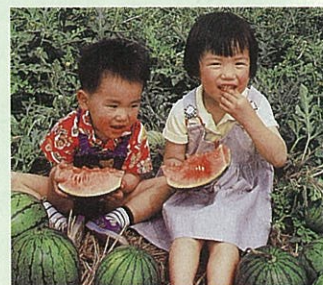
水戸I.C.からクルマで約50分。友部I.C.からクルマで約40分
駐車場 乗用車59台 TEL.0296-76-0952

こだまスイカの季節です

協和町



協和町はフルーツや野菜の産地としてひととき有名な地域。その中でも有名なのがこだまスイカです。昭和32年に試作が始まり、核家族化が進むなかでニーズは急増。昭和50年には紅こだまが導入され「協和のこだまスイカ」として市場での評価が確立、さらに昭和63年には茨城県青果物銘柄産地の指定も受けて順風満帆です。キャッチフレーズは「太陽の味覚」、国道50号を走るなら「協和のこだまスイカ」。忘れないでください。



郵便はがき

料金受取人払

水戸中央郵便局
承認

5744

差出有効期間
平成16年2月29日
(切手を貼らずに
お出し下さい。)

310-8790

水戸市千波町1962-2

国土交通省関東地方整備局
常陸河川国道事務所調査第二課

みちづくりニュース
「にぎわい街道」担当 行



以下の質問で該当する項目一つに○をつけて下さい。

- ①住所 a. 協和町 b. 岩瀬町 c. その他()
- ②性別 a. 男 b. 女
- ③年齢 a. 20歳未満 b. 20歳代 c. 30歳代 d. 40歳代
e. 50歳代 f. 60歳以上
- ④職業 a. 会社員・団体職員 b. 自営業 c. 公務員 d. 主婦
e. 学生 f. その他()

（キリトリ）

常陸河川国道事務所からのお願い

「みちづくりニュース」に対する皆様のご意見や感想、道路への疑問点等をお寄せ下さい。

また、「みちづくりニュース」では、協和町や岩瀬町周辺の四季を感じる季節の花々や風景写真を募集しています。写真はサービス版以上の大きさがあれば構いません。デジタル写真の場合はJPEG形式でお送り下さい。

(送り先・お問い合わせ)

〒310-0851 水戸市千波町1962の2
TEL 029-243-5135
FAX 029-243-6072
E-mail michitsukuri@aa.ktr.mlit.go.jp

●様式は自由ですが、写真は返却致しますので、住所、氏名のご記入を忘れずにお願いいたします。

国土交通省関東地方整備局
常陸河川国道事務所
調査第二課